

事務室における環境消毒のめやす

新型コロナウイルスは咳やくしゃみなどの症状のある人が、鼻や口を触ってウイルスがついた手で周辺の環境に触れることで、テーブル、ドアノブなどにウイルスが付着する。他の人がその場所を知らずに触りウイルスが手につき、その手で自分の口、鼻、目を触ることで感染することがある。そのため手洗いの重要性が感染予防として最も重要であるが、同時に環境中のウイルスを除去することも重要である。

事務室内では1日1回、多くの人に触れる場所は2回程度消毒用アルコールで消毒する。

各課で消毒が必要な場所の例

課	場所
全課	ドアノブ、コピー機、シュレッダー、エアコン・補助暖房・照明等の操作スイッチ、共用パソコンのマウス・キーボード
総務課 企画戦略課	カウンター、ミーティングテーブル
会計課	経理係窓口、カウンター（会計係、契約係）、ミーティングテーブル
施設課	カウンター、ミーティングテーブル
学生センター 教務課 学生支援課	学生カウンター※、学部教務係カウンター 入試室窓口 ミーティングテーブル（学生支援課、教務課、入試室）
学術情報課	図書カウンター、事務室内カウンター ミーティングテーブル
共用部分	手すり（階段、スロープ等）、エレベーターボタン

※カウンター上の物品は多くの人に触れることになり、消毒箇所の増加や消毒が行き届かない場所の原因となるため、必要最小限に整理することが望ましい。

参考：新型コロナウイルス情報-企業と個人に求められる対策- 日本渡航医学会産業保健委員会、日本産業衛生学会海外勤務健康管理研究会作成 2020.2.20

新型コロナウイルス感染症市民向け感染予防ハンドブック [第1.1版] 監修 賀来満夫（東北医科薬科大学医学部感染症学教室）